



桑 1/4 ～ オランダ人のご夫婦が来町 折町の暮らしを体験したい！

日本での暮らし方や文化に興味を持ったオランダ人のご夫婦が、1月初旬から約2か月の滞在期間を経て、オランダに帰国することになりました。

滞在期間中は、地域の方々との交流や町のイベントなどに多く参加いただきました。醸芳幼稚園や伊達崎小学校では、子どもたちにオランダの街並みや文化を紹介したり、ささえ愛ふらっとでは、利用者にオランダ料理を教えていただいたりしました。



2ヶ月前桑折町に着いた日が昨日のことに感じられます。たくさん場所に行けて、たくさんの人に会えてとても嬉しかったです。子どもからお年寄りの方まで、皆さん本当に親切なおもてなしをしてくださいました。天気は寒かったけど、皆さんは温かく、アットホームな雰囲気でした。もうすぐオランダの生活に戻ります。帰国後は、オランダにある日本の博物館で、ひな祭りについてレクチャーする予定です。機会があれば、ぜひまた桑折町に来たいです。だから、またね！
Dank je wel (オランダ語でありがとう)



▲満100歳を迎えたサタさん。これからも元気に長生きしてください。

工 2/12 100歳賀寿おめでとうございます 藤サタさんに賀寿贈呈

2月12日に100歳を迎えた工藤サタさんへ、町から賀寿とお祝い金、県から賀寿と記念品、町議会、町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会よりお祝い金が贈られました。

社交的で歌が好きなサタさん。長寿の秘訣は「自分のことは自分で行うことと、毎日身だしなみを整えること」だそうです。

ご家族も「こうして満100歳を迎えることができ、大変うれしい。これからも明るく元気に生活してほしい」とサタさんとともに賀寿の喜びを分かち合いました。

功 2/18 小・中学校各種コンクール表彰受賞報告会 績をたたえて

各種コンクールにおいて、素晴らしい賞を受賞された小・中学生の皆さんが、その報告のため役場を訪れました。高橋町長は「各分野で羽ばたく皆さんは町にとっても大変喜ばしい」とお祝いの言葉をかけました。

- ・渡邊希亜さん（醸芳中3年）朝河貫一賞「優秀賞」
- ・阿部豊さん（醸芳中1年）ざぶん賞「準ざぶん大賞」
- ・加藤郁さん（醸芳小6年）算数オリンピック「銅メダル」
- ・横山穂乃花さん（醸芳小6年）赤十字・いのちと献血俳句コンテスト「血液センター所長賞」



▲（左から）横山さん、加藤さん、高橋町長、渡邊さん、阿部さん

【お詫びと訂正】先月号に掲載した「平成30年北海道胆振東部地震募金」の記事について、金額等の誤りがありました。お詫びして訂正します。（正）各町内会等の寄附で集まった義援金計118万円が日本赤十字福島県支部を通じて早急に被災地へ送り届けられました。



▲ロータリークラブ阿部会長より作品製作に使う道具を引き継ぐ生徒たち

来 1/22 醸芳中学校フラワーロードギャラリー引き継ぎ式 年度の作品製作に向けてバトンタッチ

桑折駅前復興公営住宅前で見の人を楽しませている、醸芳中学校フラワーロードギャラリー。この取り組みを来年度へ引き継ぐため、引き継ぎ式が醸芳中学校で行われました。

作品に使う陶板や絵の具を寄附いただいているだて西ロータリークラブの阿部真樹会長は「昨年末にラジオ福島で、この取り組みが紹介され、注目が高まっている。ぜひ来年度も良い作品を作してほしい」とあいさつし、大木修醸芳中学校長からは「復興公営住宅にお住まいの人や通行する人に作品を見ていただき、町を明るくしていきたい」と話しました。

可 1/25 醸芳幼稚園年長組発表会 愛らしい演技を保護者らに披露

醸芳幼稚園で発表会が行われ、年長児74人が、劇やダンス、歌などを元気いっぱい披露しました。

劇では、一人ひとりセリフが多い中、堂々と大きな声で発表し、ダンスや運動では、これまでの練習の成果を存分に発揮し、保護者や来賓の皆さんにかっこいい姿を見せていました。保護者からは「最後に全員で発表した手話付きの合唱『365日の紙飛行機』にとっても感動した」などの感想がありました。観客の多さに少し緊張している園児もいましたが、友だちと一緒に力を合わせて、一生懸命頑張る姿が印象的でした。



▲劇「ねずみの嫁入り」太陽や雲などになりきった可愛い演技を見せました



▲参加者みんなで和気あいあいとピザを作り、交流しながら美味しくいただきました

ピ 2/3 福島圏域出会いの場創出事業 ザ作り体験を通して、楽しく交流！

福島圏域で実施する交流イベント「阿武隈急行とバスで行く 縁結びツアー」が開催されました。当日は、男性20人、女性20人が参加し、ぺんぎんナッツ（よしもと住みます芸人）のナビゲートのもと、福島圏域（福島市、二本松市、伊達市、本宮市、白石市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、飯館村、米沢市）の人気スポットを巡るほか、縁結びに役立つ講座を受けました。

「レガレーこおり」では、ピザ作り体験と会食を通して交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。

醸 2/12 第13回赤十字・いのちと献血俳句コンテスト 芳小 横山さんが県内最高賞を受賞！

献血活動への普及活動を目的とした「日本赤十字社第13回赤十字・いのちと献血俳句コンテスト」において、全国約13万句以上の応募の中から、醸芳小学校の横山穂乃花さん（作品『かき氷 欲しさ忘れて 稚児の舞』）が、県内では最高賞となる血液センター所長賞に選ばれました。

これに際して、醸芳小学校で表彰伝達式を実施。横山さんは「小学3年生から始めた稚児の舞も、今年で引退の歳となりました。諏訪神社例大祭は私にとって夏休みの楽しい思い出です。最後の稚児の舞に懸けた想いを俳句に込めました」と作品に対する想いを明かしました。



▲（左から）岸岸正好血液センター所長、横山さん、木村政文醸芳小学校長